

---

# 魔法少女リリカルなのは ~蒼天の剣~

紅の牙

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは ～蒼天の剣～

### 【NZコード】

N0541Z

### 【作者名】

紅の牙

### 【あらすじ】

海鳴市に住む青年が、六課に入ったとき、運命の歯車が動き出す。その先に待つのは破滅か？それとも平和か？さあ、その手で未来を切り開け！！

## 第1話『蒼い閃光』

「よし、今日の訓練は此処まで。各自、ストレッチをしてから帰るよ」

「ありがとうございました」

ある道場で、一人の青年が子供たちに武術を教えていた

「先生、やよひな」

「兄ちゃん、またね」

「気を付けて帰れよ」

彼の名は火群魁。火群道場の師範代である

「魁、稽古終わったの？」

家の玄関を開けると、おしゃれな格好をした女性がいた

魁：「まあね。それより、兄ちゃんどつかに行くの？」

彼女の名は火群茜、魁の姉であり、同じく道場の師範代（『』）である

茜：「ええ。これから、美由希と一緒に買い物に行くの

魁：「美由希さんと、帰つてきてたんだ」

茜：「多分、夕飯は外で食べると思つから、私の分は作らなくていいから」

魁：「あいよ。もし、家で食べるなら連絡してくれ」

茜：「ええ。じゃあ、行つてきまーす」

茜は玄関を出て行つた

「お疲れ様です、マスター」

魁がリビングに入ると、銀髪の女性が魁に話しかけた

「どうぞ」

魁：「サンキュー、リイン」

彼女の名は、リインフォース。かつての『夜天の書』の管制人格。10年前に消えたが、別次元にあつた書、『天空の書』の管制人格になった。それを魁が4年前に発見し、魁がマスターとなつた

魁：「所でリオはどこだ？」

リイン：「リオ様なら、外でお昼寝をしています」

魁：「つたぐ、稽古が終わつたら、『武術を教えて』つて言つてたくせに」

魁は笑つた

魁：「それより、悪いなリイン。本来なら、お前の全主、八神に会わせてやつてみるとこうなんだが

リイン：「大丈夫です、マスターが忙しいのは理解していますか  
「

魁：「つたぐ、嘱託魔道士の俺に何でたくさん依頼していくかね  
」

リイン：「それだけ、マスターが優秀だと言つことでは無いですか？」

魁：「俺はそこまで、優秀じゃないんだけどな」

魁がそつ言つと

『マスター』

魁が着けているネックレスが魁に話しかけた

魁：「どうした、エクシア？」

E：『山奥からロストロギアの反応を感じ…どうしますか？』

魁：「行くに決まつてんだろう」

リイン：「マスター、私も一緒に行きましょうか？」

魁：「いや、いい。リオが起きるかもしれないからな。一緒に留守番していくれ」

リイン：「解りました」

そう言い。魁は山奥に向かつた

「山奥」

「はあ、はあ・・・」

ロストロギアの反応がある地点で一人の少女が戦っている

「まさか、レリックを取り込むなんて」

彼女の名前はフェイト・T・ハラオウン。管理局の執務管だ。彼女はある違法魔道士がロストロギアを持ち逃げしたと聞き、追っていた。犯人に追いつき、戦闘不能にまで追い詰めたのだが、犯人がロストロギア『レリック』を使い、怪物となってしまったのだ

「があああああああ」

疲れていたのか、怪物となつた魔道士の攻撃に反応できず、直撃を受け、吹き飛ばされてしまった

フェイト：「ぐうっ！！」

フェイトは木に激突した。怪物はそのまま、フェイトの追撃を仕掛けようとした

フェイト：「（か、体が動かない）」

さつきの衝撃がまだ残つており、フェイトは動けないでいた

フェイト：「（皆、ごめん）」

怪物の攻撃が当たる寸とした瞬間、

『SONIC move』

蒼い閃光がフェイトを助けた

魁：「間一髪だな」

閃光の正体は魁であった

魁：「大丈夫か？ つて、ハラオウンじゃねえか」

フェイト：「ほ、むら君？」

魁はフェイトを地面に降ろし、怪我の様子を見た

魁：「（怪我はそこまでひどくねえな、これなら少し休ませれば回復するだろ？）」

魁は立ち上がりた

フロイト：「ほ、むら君、逃げて。此処に、いたら、危険だよ」

魁：「怪我している女の子を見捨ててまで逃げようとは思はねえよ」

魁はそう言い、エクシアに話しかけた

魁：「準備はいいか、エクシア？」

E：『勿論です、マスター』

魁：「そんじゃあ、行くぜ。セットアップー！」

エクシアは待機状態から、銃、剣、盾が一体となった剣『GNソード』になり、魁もB-Jを纏つた

魁：「火群魁、目標を駆逐するー！」

魁はGNソードをソードモードにし、怪物に突撃した

「があああああ

怪物は魁に攻撃してきたが、魁はそれをかがんで避け、そのまま回転しながら敵を斬り裂いた

「があつ！？」

魁：「はあつ！！」

そして、ひるんでいる怪物に蹴りを放ち、蹴り飛ばした

魁  
：  
一  
・  
・  
・  
・  
・  
案外  
あ  
け  
な  
し  
な

魁はそこにはしてはいるが、剣を構えていた

「ああああああああ」

卷之三

魁は怪物の身体を見て、驚いた。何故なら、先程傷をつけた個所が治っているからである

魁：「どういうことだ？」

E：『恐らく、ロストラギアを体内に取り込んだことにより、驚異的な回復能力を得たようですね』

解らなかつた魁にエクシアが教えた

魁：「エクシア、現段階でいいつを倒す方法は？」

E：『封印するしかありませんね。しかし、問題はどうやって相手の動きを止めるのです』

魁：「俺に考えがある。封印の準備をしておいてくれ」

E：『了解』

魁はエクシアに封印の準備を頼むと、怪物に近づき、左掌底を喰らわせ、直ぐに距離を取った

「ぐああああ…があつ…？」

怪物が魁に近づこうとした瞬間、雷を纏つた蒼いバインドが怪物に巻きついた

魁：「ライトーリングバインド。わっせ、掌底を打ち込んだ時に仕掛けさせてもらつた」

E：『ライフルモード！』

GNソードの刀身が折りたたまれ、魁は銃口を怪物に向けた

E：『マスター、封印砲の準備完了です』

魁：「そんじゃあ、行くぜ」

魁は銃口に魔力球を形成した

E：『ターゲットロック』

魁：「ライジング…スマッシュ…！」

雷を纏つた蒼い閃光が怪物を包み込んだ。閃光が止むと、そこに  
は、赤い宝石と違法魔道士が倒れていた

魁：「ふう、完了つと。さて、ハラオウンは、つて寝ちゃつて  
るよ」

魁がフェイトの方に振り向くと、眠っていた

魁：「・・・怪我の治療もしないと行けないし、取りあえず家  
に連れて行くか」

魁は違法魔道士に厳重なバインドを掛けた後、赤い宝石をエクシ  
アに入れ、フェイトを抱えて家に向かった

主人公

名前 火群 魁（ほむら かい）

年齢 19歳

性別 男

容姿 BLACK CATのトレイン・ハートネット（瞳の色は黒）

魔力量 S+

魔力光 蒼

所持ランク 総合S+

変換資質 電気

海鳴市に住む青年。火群流道場の師範代で空手を教えている。空手の実力は達人レベル（史上最强の弟子兼一の逆鬼並）。中学の時3回、高校3回、計6回全国で優勝している。小学3年から中学の卒業までなのは、フェイト、はやて、アリサ、すずかとは同級生だった。本人は気づいていないが、中学、高校のときはかなり女子に人気があり、ファンクラブがあつた模様。家族全員が魔道士であり、

両親はデバイスマスターとして本局で働いている

## デバイス

名前 エクシア インテリジョンデバイス（Aエは女性）

待機状態 ネックレス

特殊装備 MNドライブ（内容はGNドライブと同じ）

ツインドライブシステム 現在封印中

特殊機能 トランザムシステム 2分間の間、魔道士の力をSSS並にする。一度使用すると、チャージまで3分間かかる。尚、チャージに必要な魔力は使用者の物ではなく、大気中にある魔力の粒子である

## 起動状態

モード1 エクシアの基本形態。剣、銃、盾を一体化したもので、扱いがよく魁が一番使っている形態。形状はGNソード

モード2 エクシアの双剣形態。形状はGNソード？

モード3 エクシアのインファイト形態。形状は手甲（ケンイチ）が使っているもの

モード4 エクシアの砲撃形態。形状はGNソード？プラスター

モード5 エクシアの大剣形態。形状はGNバスターソード？

モード6 エクシアの七剣形態。剣の形状はダブルオーガンダム  
セブンソード/G

BJ ゴッディーターのF制式上衣と下衣（ジャケットの色は蒼）  
。更に両腰にはガンダムエクシアリペア？で装備されているGNビ  
ームサーべル

名前 リインフォース？

容姿は A、sの時と同じ

主 火群 魁

元夜天の書の管制人格。消えたはずだが、他の次元にあった魔道  
書『天空の魔道書』の管制人格になった。4年前に魁に見つけられ、  
そのまま契約した。実力はA、sの時の倍で、火群道場で特訓して  
おり格闘スキルに磨きがかかるつた

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0541z/>

---

魔法少女リリカルなのは～蒼天の剣～

2011年12月1日23時46分発行